



## KIC創立記念式典から考える、活動の主体とは

あっという間に4月が過ぎ、気づけばGWも終了。木々の緑がキラキラ輝いて見えるこの季節、僕は大好きです。一年の始まりを告げる桜の花から、いよいよ本格的に動き出すんだという緑の季節。夏の背中が遠くに見え始め、着ている服も少しずつ変化していく。毎日がワクワクしませんか。

さて、今回お話ししたいのは、4月28日（金）に行われたオーストラリアの系列校Kardinia International College（KIC）の創立記念式典について。控えめに言っても素敵でした。ステージ上にスポットライトが当てられ、司会進行役の生徒が壇上に姿を表した瞬間に、ざわざわしていた会場が一瞬で雰囲気が変わり、生徒たちのスイッチが入ります。オープニングは国歌斉唱。オーストラリア国歌をステージで生徒たちが歌ってくれた後、日本国歌を一人のオーストラリア人の生徒が独唱スタイルで歌ってくれました。異なる言語の歌を歌うことは非常に難しいですし、ましてや独唱だなんて緊張もマックスだったのではないかと思います。そのパフォーマンスの高さに感動を覚えました。ポール教頭からは、KICの創立から現在までの道のりと、創立者である勝間田芳麿氏がどのような人柄だったのか、そしてどのような思いを抱いてこのKICを創立することとなったのかを、当時の写真で振り返りながら説明してくれました。校章の意味、校訓の意味、そしてこれからの世界の未来を作るという壮大な学校の目標について語られました。そこからはKICのキャサリン校長によるスピーチ、勝間田芳壽理事長からのお礼のスピーチと続きました。そして、最後に創立から現在までに至るストーリーがスクリーンで映される中、生徒のバンドによる演奏が行われました。会場は感動に包まれ、中には涙する教職員の姿も。いろいろな人たちの温かい思いが溢れる中、創立記念式典は終了となりました。実は、僕も少し泣いてしまいました。

ここで、みなさんと一緒に考えたいことがあります。式典って何でしょう。全校集会って何でしょう。みんなが体育館に集まってまで何をするのでしょうか。その際に必要となることって何でしょう。いろんな考え方があっていいと思いますが、僕は御殿場西高校の生徒のみなさんには、

- ・先生からの指示待ち集団ではなく、活動の主体であってほしい
- ・これまでの形式にとらわれず、こうありたい形をみんなで一緒に作る
- ・一緒に作るために、対話的な組織になってほしい

学校のこれまでの形はそれはそれです。本校の57年の歴史にはさまざまな人の思いが詰まっていて、それが伝統となり守られ続けてきました。伝統は大切です。ただし、重要な考え方として、伝統は作るものであるということです。今いる生徒がこれからの御殿場西高校を作るということは絶対に忘れてはいけません。やりましょう、新しい学校づくり、みんなで。



## iU（情報経営イノベーション専門職大学）と包括連携協定を締結！

4月19日（水）御殿場西高等学校はiU（情報経営イノベーション専門職大学）との包括連携協定を締結しました。今回の連携協定を機に、アントレプレナーシップ教育に関する授業の実施や、iU生と交流を促進し、授業は先生が考え、実施は教室で行うという学校の固定概念の枠を外します。これにより社会ニーズをより反映した、多彩な教育の提供を実現します。

※iU（情報経営イノベーション専門職大学）とは東京都墨田区にある専門職大学であり、「ICT×起業×英語」の3つを掲げています。本校でカリキュラムの中心にしている探究的な学び、プロジェクトベースの学びなどで連携をしていきます。



## 中国サッカーチームと国際交流

5月1日（月）御殿場西高校では国際交流の一環として、中国から遠征にきている浙江職業足球倶楽部（浙江FC）とサッカー部の生徒たちがトレーニングを行いました。国は違えど、サッカーボール1つでコミュニケーションを取ることができ、改めてサッカーの素晴らしさ、スポーツの奥深さを体験しました。言葉の壁はスポーツを通して簡単に超えられる！



## 校長室は半分に。そして・・・

いつの間にか校長室は半分になりました…。広々とした空間も、今やこじんまりとした部屋となりました。白い壁の向こうには全く新しい空間が。その名も「経営企画室」です。対話と協働による共創がコンセプトです。もうすでに生徒も先生も誰でも使える空間として活用されています。この部屋でいろんなアイデアが生まれ、形となっていくんですね！



## 保護者の皆様へ

本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。5月に入り、新入生も学校生活に慣れてきており、毎日を明るく楽しく過ごしています。校長室にも遊びに来ってくれる生徒も増え、毎日いろんな生徒と交流することができています。生徒と教員の心の壁のないつながりを築いていきたいと思ひます。

5月12日（金）に保護者会後援会総会が開催されました。その際、私から今の学校の考え方やこれからの方向性について共有させていただきました。これから本格的に学校の枠を外し、外部に向けてよりオープンで連携した学びができるようにしていきたいと思ひています。「校章のふじいばら」も、この富士山麓地域で群生しながら育つ植物です。本校も、さまざまな方々との協働により、より活気あるワクワクするような学校にしていきたいと思ひます。

